

開校準備だより



先月号で義務教育学校の開校時期の変更についてお知らせしたところですが、12月末から1月にかけて説明会を実施いたしました。今回は、説明会でお話させていただいた内容について概要をお知らせします。

進捗状況

用地買収

- 地権者の皆様には、土地をお売りいただくことに同意をいただいています。
- 本事業については、用地を取得するために国との協議が必要となります。そのため、県を通じて国に書類を提出し、事前確認をしてもらっているところです。

開校が遅れる理由

- 用地取得を行ったために必要な農地転用申請の準備に時間がかかるため。

造成設計

- 建築設計の状況を踏まえて、土を盛る高さなどの検討を行ったところです。

- 学校から出る排水をどこにどのように流すかという検討などに時間がかかったため。

造成工事

- 用地買収と造成設計が終わったら、取りかかる予定です。

- 当初想定していたよりも多くの工事期間が必要となることが考えられるため。

建築設計

- 令和5年度に基本構想を定めました。それを踏まえ、令和6年3月から建物の設計を進めているところです。

- 学校棟・こども園棟・体育棟・交流棟の配置、教室の配置、どのくらいの規模にするかなどの検討に時間がかかったため。



建築工事

裏面もご覧ください

進捗状況

ソフト面



- 令和5年11月に開校準備委員会を設置しました。令和6年度は、校名候補の選定に向け、公募を行うことが決定しました。
- 令和6年度から3つの専門部会を設置し、詳細な事柄について検討を始めています。

今後について

開校時期について

- 現在、各設計の途中であるため、明確な工事期間などをお示しすることが難しい段階です。
- しかし、スケジュールは3年から5年程度遅れる見込みです。
- のことから、開校時期は令和13年4月以降になるものと考えられます。

複式学級について

- 現時点の児童生徒の推定数調査では、令和10年度に大篠津小学校で複式学級ができることが想定されています。
- 米子市の方針では、先生を増やし、複式学級にならないようにすることは行っていません。
- しかし、本件については、学校整備の遅れによるものなので、義務教育学校が開校するまでは複式学級とならないよう先生を増やすことを検討することとしています。



複式学級とは、2つ以上の学年を1つにした学級のことです。
鳥取県では、隣り合う学年の児童の合計が15人以下のとき、複式学級になりますが、1年生は複式学級にしないとしています。

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
例1	6人	8人	10人	7人	12人	5人
例2	11人	6人	8人	10人	7人	12人
例3	2人	11人	6人	8人	10人	7人
例4	9人	2人	11人	6人	8人	10人

人数に関わらず、複式学級にはなりません。

2年生以上は、下の学年を基準とし、隣り合う学年の児童の合計が15人以下のとき、複式学級となります。1つの学校で2つの複式学級ができる場合もあります。

今後のスケジュールについて

- より具体的な見通しが立ち次第、報告させていただきます。
- 子どもたちの教育環境を充実させるために、引き続き事業を進めています。



関係者の皆様には、大変ご心配をお掛けしており申し訳ございません。
今後、この事業を一つ一つ丁寧に、一刻も早い開校に向かって精一杯進めて行くことが教育委員会としての最大の責任だと考えております。
子どもたちのために、今後ともご理解ご協力をお願いいたします。